

会 議 録

会 議 の 名 称	第3回二戸市立小・中学校通学区域調整委員会
開 催 日 時	令和7年9月1日（月）午後6時30分～7時40分
開 催 場 所	二戸市役所1階会議室
公 開 又 は 非 公 開 の 別	公開
出 席 委 員	太田郁夫委員、佐藤順委員、槻館行男委員、新毛公生委員、 荒川優子委員、戸来陽子委員、浪岡幸子委員、小笠原猛委員、 小林聖委員、福原直樹委員、山舘誠委員、戸来守和委員、 橋場重人委員、山本卓也委員、小林温委員、工藤裕介委員、 筒井裕一委員、中野善文委員 （欠席：新毛真武委員、中里敬委員、蛇口吉男委員）
説 明 の た め に 出 席 し た 職 員	加藤教育長、立花教育部長、長畑教育企画課長、桂学校教育企画監、 小保内教育企画係長、大平教育施設係長、五日市学校教育主査
会 議 の 概 要	・ 審議 諮問事項について ・ 事務局より資料説明 ・ 質疑応答 ・ 次回の会議にあたり、質問・意見・資料要求の提出依頼

発 言 者	内 容 (要 約)
部長	1 開会 18:30 第3回二戸市立小中学校通学区調整委員会を開催する。 委員3名欠席。定数に達していることから会議成立となる。
教育長	2 教育長あいさつ 前は、小中学校の規模、複式学級について、委員の考え方等をお聞きした。本日は、委員の意見を集約し、本委員会の考え方をまとめ、答申内容の方向性が見える形になることを期待している。
会長	3 会長あいさつ 前は委員皆さんから意見をいただき、本日の資料としている。 本日は、答申する骨子となる部分として、特に学校規模の意見をいただきたい。
会長	4 審議 審議に入る前に事務局の方から資料の説明をお願いいたします。
課長	前は、委員から、今後の10年、15年先の二戸市の在るべき学校の規模について意見をいただいた。資料は、意見の単学級、複数学級について、具体的な理由が付してあるものをまとめたところである。 学校規模については、小学校、中学校ともに、学校での学びや人間形成、また多様な考え方が必要であり、複数学級が望ましいという意見が多く出された。中学校は、教科担任の配置の点から3学級以上が望ましいという意見が多く出された。また、これらの規模に鑑み、複式学級につきましては、解消していくことが望ましいという意見であった。
会長	事務局から資料の説明がありました。何か意見等ありますか。
委員	中学校の教科担任の確保について、保有免許以外の教科指導は負担が大きいと教員側の立場で話したが、生徒側に立った考えも述べるべきだった。子どもたちの学びを考えたとき、やはり専門の教科担任の指導が望ましいという意見を付け加えたい。
会長	生徒側に立てば、免許のある先生からの指導が望ましいということです。他にありますか。
委員	資料の単学級のところの意見に棒線が引いてあります。何も意見が出なかつ

	たのか。
課長	複式学級よりは単学級が良いという意見はあった。単学級の良さを踏まえた 具体の意見はなかった。その上で、人数が揃うのであれば、クラス替えができる 等で、複数学級が望ましいという意見だったので横棒の記載としている。
委員	こういう議論があったという記録を残す意味でも、意見は入れたほうが良 い。このように書くと、これありきでの話をしていると見える。
会長	単学級がいいという意見はあったということです。
課長	複式学級よりは単学級がよいという意見を資料に追加して正式な資料とす る。
会長	他になれば審議事項に入ります。 学級規模について、はじめに、単学級は避けた方がいい、複数学級の方の望 ましいと意見が出ている中学校の学級規模から進めてよろしいか。
	【異議なしの声あり】
会長	中学校の学校規模について意見を伺う。
委員	3学級以上になるよう、金田一中、福岡中の統合を早めに進めた方がいい。 浄法寺中は通学が課題になり時間が結構かかると思う。まずは金田一中、福岡 中は早い段階で統合を考えることが、小学校をどうするかにもつながる。
会長	統合を話し合うのではないので。3学級以上という意見です。
委員	できれば3学級を切ることがないように、後手に回らず、先行して進めるこ とが必要と思う。
委員	3学級以上という話が前回からでている。2学級ではダメなのか。現在、福 岡中は1学年3学級で何も対処しないと減っていくが、すぐ金田一中との統合 をするべきなのか疑問を持っている。
会長	統合の話し合いの場ではない。
委員	まず2学級ではどうでしょうかという話です。

委員	統合の話の場ではないと言っても、それがあき話であると思っている。 福岡中が3学級を確保している。他の中学校は3学級確保していた年は何年あったのか。 向かう先は統合であれば、5年後、10年後を見据えて話をしていくべきである。自分が中学校に通っていた段階で、1学級、2学級であった。統合を話す場ではないと言われれば、これ以上話もしようがない。
会長	答申は、中学校は何学級以上、できるだけ早くに、何学級以上保てない学校は云々という形で学級についてが答申されると思っている。何学級以上なので、統合してという話ではないが、議論の中で統合の話はあっていいと思う。 事務局、2学級以上であれば、教科はどういったような形になりますか。
課長	中学校は、3学級以上であれば、主要5教科プラス技能教科に専門の教科担任を配置できる。1学年2学級、学校で6学級では、専門の教科担当の配置はできない。講師、若しくは免外の対応になるか確定的な部分ではないが、教育の学びのことを考えると、きちんと教科担任が配置される3学級以上が望ましいということで国からも示されている。
委員	免外だと学力低下につながるのか。
課長	委員の先生方が専門とはなりますが、免外の先生であれば、専門ではない分野の指導になる。指導の部分では、熟練された先生方と比べると指導には差がでてくるものと思う。
委員	私の専門教科は国語ですが、かつて英語と体育を教えた経験がある。英語については、かなり勉強して指導しましたが苦い思い出である。
委員	中学校の現状を見ると、すでに金田一中と浄法寺中は1学級である。これから2学級になるのは厳しいと思う。3学級か、単学級の話でいかないと。
委員	学力の低下につながるということであれば、考えていかななくてはならない。
会長	金田一中、浄法寺中も教科担任の不足、部活動などで影響がでている。現状でいうと、子供の選択肢や学習の専門的な知識を得るということでもある。
委員	中学校に関して、統合を考えると2学級以上か3学級以上どちらがいいのかという話になる。出生数が令和4年度は93人、令和5年度が94人である。仮に統合して2校とした場合、均等に分けると、45、45ぐらいになる。これと、1校に統合して3学級を選択肢するのであれば、2学級以上よりは3学級以上

	の方がいいと思う。免許の問題では、免外となる多くの先生方が、子供たちに学力をつけさせるため一生懸命やっているので、学力がどうなるか意見は分かるところであるが、子どもたちの多様な意見、多様性を考えたとき、45人と45人の2学級の学校より、90人合わせた3学級の学校で、世の中にはいろいろな人がいることを経験させたいと思う。
会長	令和4年度の子が中学校3年になった時、9年後、10年後、90何人しかいない。10年後、令和4年度の100人を切った子どもたちが中3になるときに、2学級、3学級を考えれば、もう現状からいけば3学級ということです。 いずれにしても出生率が下がっていけば、3にしたいでも3にはならない。10年後を見据えたときに、100を切るか切らないかの部分が実数になると思う。
委員	子供たちが中学校で、勉強、部活動などに熱心になる環境を整えることがこの委員会の役目でもあると考えている。教科担任がしっかり配置された教育課程を組めることが大事である。免許外の先生が教えることは少ないほうが良く、そう考えると3学級以上という部分が1つの根拠となる。 生徒指導上の部分でも、トラブルを翌年も起きないように、相性の問題などを改善する場合、できるだけ多くの学級により、学びの環境を作っていける。
会長	他に意見がないようであれば、中学校の学生の学校規模は1学年3学級以上として、答申に盛り込む方向で進めることでよろしいでしょうか。 【異議なしの声あり】
会長	それでは1学年3学級以上ということで、答申に盛り込むこととしたいと思います。 次に小学校の学級規模についてです。 単学級、複数学級について、併せて複数学級も2学級以上、3学級以上なのかということも踏まえた形でご意見をお願いします。
委員	2学級以上で私はいいと思っています。これから人数が減っていくのは見えている。私のところの学校は複式学級で、1学年5人とか4人のクラスです。それよりは1学級、それよりは少しでも多い人数の中で、学んでいけたらと思う。2学級以上がいいと思う。
委員	私も2学級以上あった方がいいと思う。出生数は今年もっと減るはずですが。もしかしたら2学級以上も厳しくなると思う。今手をつけておかないと後になって大変になる。ここに書いている皆さんのご意見を踏まえた上で、将来を見据えて早めに手を打つというのが大事ではないか。

会長	2 学級以上のうちに、早めに手を打っていくということですね。
委員	私もクラス替えが出来る 2 学級でよい。3 学級でなくてもいい。
会長	クラス替えで人間性の構築ができる。2 学級でもそこは可能でないかという意見です。
委員	僕も複数学級がいいと思う。クラス替えや、集団での学びというのは、おそらく考えているよりも多いと思う。 ここで質問です。今話していることは、単学級、複数学級のどちらが個人的にいいかっていうお話でいいですか。例えば、単学級を複数学級にするって言った時、中学校の時に意見いえば良かったですけど、まとめた時の例えば遠くなった時の親御さんの負担や、そのあたりは議論しなくていいですか。
会長	答申を出して、どうしても統合しなきゃならないような形であれば、教育委員会が 10 年間を見据えた計画を皆さんから意見を聞き、統合についても話し合いされると思う。答申に沿って、進めていく形になる。 複数学級の人が集まるのであればいいという意見でした。
委員	悩ましい。なぜ言い切れないかというと、6 年生では、市内に複数小学校があった方がライバル心などでてくる。陸上の大会など、さまざまな外部の大会の時には結構燃える。そして、その子たちが中学校に集まるという良さもある。1 学年 1 学級で複数校小学校になると、極端な話、市内に 1 校のどっちかとなると、子どもたちの学びを考えたときにどちらが良いか結論を出せない。ただし、1 つの学校で考えると絶対 1 学年複数の方が良い。
会長	学校内の切磋琢磨もいいけれども、校外での切磋琢磨ということでした。 90 人を 2 つにすると市内には 2 校しかなくなります。70 人を切った場合には、もう何やっても 1 学級しかできない。そこも踏まえ、また見据えた 10 年後ということで、2 学級以上という形での方向で盛り込む形でよろしいですか。
委員	複式学級よりは単学級が良い、単学級よりは 2 学級が良い、そういう流れになっている。答申として 2 学級以上と出していいのか。先ほどの意見で 1 学年単学級の学校もある。もちろん 2 学級の方がいいけれども、全体総意として、どちらがいいか僕も言い切れないものがある。今の流れだと完全に 2 学級という流れだったので不安なところがある。
委員	自分もそう思う。結論ありきで話をしている気がする。現状、福岡小以外は

	1クラスで、ここ1年2年の話ではない。これまでを1クラスだった現実をどう思っているか。自分も単学級よりは1学年2学級以上が望ましいと思っている。それと同時に地域性も失われていくとも感じている。総意でそういう方向には行きたくないと思う。地域で生まれ育って、その学校にいて、子供も通っている。ありきで話が進んでいる感じがして、この話し合い自体、意味がないと感じている。
委員	小規模校で複式学級でも、学力は全然良い。体育ではデメリットがあるが、学力は絶対悪くなる方向には行かない。統合は、病気などでの父兄が遠くまで迎えに行けるのかの問題もある。簡単に統合はやらない方がいい。地域から学校がなくなると寂れる。大規模校にして、どこまでメリットがあるのかわからない。小規模校はかなりメリットがある。
委員	今、出生数90人で、今後も減っていく見通しの中、学級数の在り方を考えていかないとならない。地域性の話があったが、入学児童が1人とか、ないということもあるのでは。そこを見据えて話し合いをしないと。1番課題になることと思う。
委員	複式学級では、一番少ない学年は1名である。見ているだけでもかわいそうになる。5人ぐらいの複式なら良いが、1人は今後も出てくるみたいだ。 例えば、御返地小と二戸西小の統合ならちょうど良い人数だと思う。
会長	統合の話も出てきました。10年後に確実に学年に90人を切る見通しの時に、今ここで答申することに意味がある。
委員	自分は中学校も小学校も2学級、子供も2学級だった。少ない人数の学校はかわいそうと思っている。 小規模小学校区や中学校では部活をするため、親戚の住所に移す子を見ると大きい学校のほうが良いと思う。 小学校はなくなると寂しいと思うが、中学校は一緒にならなくてはならないと思う。
委員	どうしても相性が合わない子がいる。学校では別々のクラスで過ごしてほしいので2学級以上あった方がいい。
委員	データを見ると集約していかなければならないのは分かる。単学級を維持するようなデータがあれば見たいところではある。将来の予測ができるのかというところはある。今後統廃合が出てくるとは思っている。

委員	適正な学校規模という話し合いでは複数学級が良いとはなるが、単学級を否定するものではない。答申の仕方として、2学級以上を目指すことはいいが、単学級を維持することも盛り込めればいいと感じている。全部を複数学級にすることは無理だと思う。それよりは複数学級と単学級の学校とでライバル心があっても良いのではないか。今、単学級の学校が多いやり方が適正ではない方法とならないように。
委員	私自身、親になっても単学級しか知らない。困ったこともなく複数学級を知らないので自信はもって言えない。単純に単学級か、2学級以上がいいのかだと2学級以上にメリットがあると思う。
委員	小学校の場合は90人のところで、学級担任外の教務主任の配置があるのか、ないのかも学校としては大きい。
会長	小学校では、教員の数90人以上いけば1人プラスなるのは単学級でも可能となる。学校規模の学級数のことを決めながらも、許容できる範囲も盛り込んでいければいいと思う。
委員	僕は全校で100人以上の子供たちがいる学校が望ましいと思う。
委員	3クラスが理想とずっと思っているが、現状を考えると難しい。現状では、2クラスないし、1クラス、あとは、学校の位置、人数、その辺を踏まえ、調整が必要だろう。今の状況を切り離しては説明ができないだろう。
委員	単学級としても、それなりの規模でなければならないと思う。
会長	許容範囲の人数も示してもらような形になるか。
委員	そのほうがいい。
会長	そろそろ時間である。次回は、小学校の規模について、複数学級が望ましいとしながらも単学級について考え、資料（2）が今議論できなかったので、複式学級をどうするべきかを話したいと思う。 学級の許容できる範囲は事務局で持っていますか。
課長	基本的には文科省が示しているのは複数学級である。それをもって基準を作り許容できる範囲を定めている。小学校では、1学年1学級であっても、教育的な環境がマイナス的な部分を補える人数であれば、許容できる範囲ということ

会長	で見ている。1 グループ 5、6 人で 4、5 班のグループが作れる 1 学級 20 名程度とし、全校では 120 名程度、中学校は、クラス替えができる、人間形成ができる経験ができる 1 学年 2 学級以上となるよう、1 学年 41 人から 80 名程度としている。 次回に向け、事務局は、今日出された内容をまとめ、許容範囲の人数を資料として出すこと。 審議は、小学校の規模について、小学校の複式学級について、学区について行う。 次回の予定 ・ 10 月 6 日（月）18 時 30 分 市役所 1 階会議室 ・ 閉会 19 時 40 分
-----------	--